

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立横路中学校  
(横路中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学	理科
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0	
令和8年度	—	—	—
令和7年度	—	—	—
令和6年度	—	—	—
令和5年度	—	—	—
令和4年度	+3.0	+4.6	+1.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 72 % 全国 69.0 % 県 69 %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎資料の一部から必要な情報を引用し、自分の考えを文章にまとめることに課題がある。(設問2(三))【書くこと】【情報の扱い】(本校43.9% 全国平均46.5%) ◇国語的な表現の技法を正しく使い、資料から情報を引用したり、友達の考えの良さを取り入れたりしながら書くことに課題がある。【書くこと】</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎複数の情報の中から適切なものを取捨選択し、意見文を書く活動を設定する。引用するときにはかぎかっこを用いること、出典を明らかにすることを留意させる。そして、文章の構成や資料の活用の仕方、表現の仕方など、観点を明確に示し生徒間で評価し合う学習活動を設定する。 ◇目的や意図に応じて、相手に伝わりやすい表現を意識しながら書く活動を設定するとともに、その文章を相互評価したり助言し合ったりする学習方法を取り入れていく。国語的な表現の技法について、繰り返し丁寧に指導をしていく。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問2)の類似問題(第2学年, 2月) 目標50%→結果56% 情報の扱い方に関する学年末テストの問題(第3学年, 1月 第2学年, 3月) 目標60%→結果85%</p>
<p><b>数学</b></p> <p>本校 56 % 全国 51.4 % 県 50 %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎箱ひげ図や四分位範囲の意味やその特徴をきちんと理解できておらず、箱ひげ図からデータの分布の特徴を読み取り、比較・考察することに課題がある。(設問7(2))【データの活用】(本校35.8%, 全国平均37.6%) ◇与えられた課題を解決するために、目的に合った数の処理の仕方を考察することや、その方法を数学的に説明することに課題がある。【数と計算】【数と式】</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎箱ひげ図や四分位範囲等の意味やその特徴を、具体的なデータを分類整理しながら正しく押さえる。その後、複数のデータの特徴や傾向を読み取り、比較・考察する中で、数学的な表現を用いて説明する活動を設定する。 ◇課題から情報を正しく読み取り、規則性などを見出させるとともに、算数的・数学的な表現を用いながら、自分の考えを記述したり、相互に説明し合ったりする学習活動を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問7(1)(2))の類似問題(第2学年, 2月) 目標50%→結果55.2% データの活用に関する学年末試験の問題(第3学年, 1月 第2学年, 3月) 目標70%→結果63.4%</p>
<p><b>理科</b></p> <p>本校 51 % 全国 49.3 % 県 49 %</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎「地球」を柱とする領域が理解できておらず、データや考察を分析して解釈できるかどうかをみることに課題がある。(設問6(2)(3))【「地球」を柱とする領域】(本校42.1%, 全国平均44.3%) ◇実験で得た結果を分析して解釈し、自分の考えをもったり、その内容を記述したり説明したりすることに課題がある。【思考・判断・表現】</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎地球や宇宙に関する自然の事物・現象について時間的・空間的な視点を持たせながらきちんと押さえる。その後、データや考察を分析して解釈をさせる活動を設定する。分析や解釈には「地球」を柱とする領域の見方・考え方を働かせた表現を用いて説明する活動を設定する。 ◇質のよい課題や問いを設定し、児童・生徒が科学的に探究していくことのできる授業づくりを進めていく。データや結果を分析して解釈する活動や、理科の見方・考え方を働かせた記述や説明をする活動を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問6(2)(3))の類似問題(第1学年, 2月) 目標50%→結果47% 地球に関する学年末試験の問題(第3学年, 1月 第2学年, 3月) 目標70%→結果45%</p>

【来年度に向けて】

第3学年のみの単発的な取組とならないよう、月1回程度教科会を設定して課題の分析・改善方策の検討を行い、系統的に授業改善を進めていく。また、継続して放課後学習タイムにQubena等に取り組み、基礎学力の定着を図る。授業では、思考ツールを活用して思考を可視化して整理し、自分の言葉でまとめる取り組みを充実させることで、活用問題に対応できる力を養っていく。